

八代中学・八代高女・八代高校

## 八高同窓会会報

創刊号

編集・発行 熊本県立八代高等学校同窓会

平成21年12月1日発行

- ② 同窓会報「道」、名称の由来
- ③ 同窓会長・校長挨拶
- ④ 平成21年度 大同窓会報告
- ⑥ 各支部・地区同窓会紹介
- ⑩ 学年同窓会だより
- ⑯ 旧制中学・高女座談会
- ㉑ 母校だより
- ㉕ 八高史
- ㉘ 飛躍人
- ㉙ 八代だより
- ㉛ 同窓会決算・予算
- ㉜ 行事予定・次回同窓会案内



# 同窓会報「道」、名称の由来



耕 治人 作詞  
林 光 作曲

遠く聞ゆるは八代海の潮音か  
心の耳すませば強く生きん

一途の道歩けとささやくが如し  
我が学びの友よ あこがれと高き望み

胸に抱き永遠に永遠に進まん  
美しきふるさとの我が学び舎よ

二 球磨の流れ速く古城の濠深く沈み  
睡蓮の花清らかに年古りし梅は  
学び舎の近くにありてかぐはし  
我が学びの友よ あこがれと高き望み  
胸に抱き永遠に永遠に進まん  
美しきふるさとの我が学び舎よ

三 若きいのちよ沃野ふく風汝に伝ふ  
世の荒波狂ふとも眞理は曇らじ  
常に育て鍛へてぞ辛苦を越ゆる  
我が学びの友よ あこがれと高き望み  
胸に抱き永遠に永遠に進まん  
美しきふるさとの我が学び舎よ

※一番は作詞者が海や球磨川河口で遊んだ思いをイメージしたもの。八代高校が以前は八代宮のすぐ横にあった情景を「一番の詞」に表してあります。三番の詞には八代高校の精神を折込んであります。

## 題字「道」について

同窓会報の題字「道」は、八代高校の校歌「道」に由来しております。

校歌「道」は、八代中学校出身の作家 耕治人氏が作詞し、林光氏の作曲により昭和三年十一月二十日八代高校文化祭で発表されました。松江城の濠の隣にあった旧校舎の講堂で行われた発表会には作詞者の耕治人氏も東京からお見えになり記念講演で次のように語られました。

故里八代の明るい太陽、その下に今なお尽きることのない球磨の流れと周囲の自然の美しさ感銘し、また、現八高の雄姿と成長ことを思つた通り、素直に筆に表した。

(八代高校新聞 第四十九号)

校歌「道」は同窓生である作家の耕治人氏が愛する故郷八代への熱い思いと、後輩への励ましを涙の中で筆に表した望郷の歌であります。

また、道という言葉は、私たちが今まで歩いた道、さらには、これから歩いていく道と語られるように人生を象徴する文字でもあります。

この同窓会報が、同窓生と母校を繋ぐ道に、また、同窓生同士を繋ぐ道になることを願つております。



作詞者プロフィール  
耕 治人(こう はると)

詩人・小説家。明治39年八代生まれ。旧制八代中学(現八代高校)にて学ぶ。「一条の光」「耕治人全詩集」で、読売文学賞や芸術選奨文部大臣賞を受賞。2005年、老年文学の最高峰と謳われた小説「そうかもしれない」が映画化。

作曲者プロフィール  
林 光(はやし ひかる)

作曲家。専門はクラシック。劇音楽や映画音楽も手がけている現代日本を代表する作曲家の一人。NHK大河ドラマのテーマ音楽なども制作。

## 創立百周年記念 緑化事業

平成十六年十二月から十九年二月末まで三期にわたって行なわれた工事により八代高校敷地が緑豊かな教育エリアとなりました。以来二年、順調に成長している樹々のその後を紹介いたします。



▲シンボルツリー(枝垂れ桜)



▲本校創立以来の蘇鉄



同志会報の創刊に寄せて

会長岡山元紀



旧制八代中学校、旧制八代高等女学校の流れをくむ八代高等学校において、これまで、毎年八月に八代市で行われる同窓会総会及び懇親会が、卒業生にとつて主な連携の場でありました。

御挨拶



八代以外の地においては、関東地区同窓会、関西同窓会、福岡支部同窓会、そして、熊本市支部同窓会が実施されており、また、その他の地でも有志による同窓会が行われておりますが、すべての同窓生を結ぶものとしては、八月に八代で行われる同窓会だけという状況でした。従つて、百十四年の長い歴史を誇り、日本の各地にいる同窓生に対して、八代高校同窓会は限られた活動しか行っておりませんでした。

会員相互の連携を緊密にして、同窓生の絆をより一層深めねじ  
いつ趣旨で同窓会報を発行する  
ことの必要性を二年前から総会  
理事会を初めとして様々な機会  
を捉えて理解を求めてまいりました。  
また、八代高校同窓会では、  
これまで同窓会への入会費とし  
て入学時に、昭和五十五年以前  
までは千円、以後、一千円、  
三千円と上がり、現在、五千円  
をもつており、卒業後の年会  
費は取らない形でやつてまいり  
ました。

しかし、以前は、一学年四〇〇人から六〇〇人もいた入学生が、現在では三〇〇人に満たない状況で、今後さらに減少する予想されます。

これはやがて同窓会の財政を圧迫する事態になることが確実で、年会費の納入も併せて、理解をいただけるように、この二年間、努力してまいりました。年会費の納入については、各地区の同窓会の体制との絡みもあり困難な作業もありましたが幸い、この八月二十一日の総会において、同窓会報の発行と

もに「」承認をいただく」とがで  
きました。  
これは、八代高校同窓会の新  
たな出発となる出来事で、徳永  
前会長の、尽力のお陰でありま  
す。  
今よつやく、「」に同窓会報  
『道』の第一号が発行される日  
を迎へ、八代高校同窓生の一層  
の結びつきが図れるものと期待  
し、徳永前会長を初め、これまで  
で尽力してこられた方々に深く  
感謝を申し上げたいと思います。

このたび、待望の「八高同窓会報『道』(創刊号)」が発行されましたことを、心からお祝い申し上げます。この会報を通して、同窓生の皆様方が、生涯強い絆で結ばれていくことを念じて、同窓生の皆様方が、生涯強く感じます。

では、師弟の気合いの入った声が響き渡り、生徒たちが「自己」を磨き鍛える姿は、「一途の道」へ続く序章の場面として、凛とした輝きさえ感じさせます。先生方が毎時間毎時間「絶景」を見せるよつた授業を開催し、生徒たちがその絶景に「わくわくする心」を彈ませています。学習と部活動の両立を図りながら、学力はもちろん、集中力、忍耐力、人間関係力を身に付けようと全力で励んでいます。輝かしい歴史と伝統を誇る八代高校は、今年から熊本県で初

めての「併設型中高一貫教育校」として生まれ変わり、新たな一步を踏み出しています。多くの県民の皆様から注目され、大きな期待が寄せられています。中高六年間の継続した教育を行い、幅広い年齢集団での活動、先取り学習や中高の教師の連携による指導などで、熊本・日本の未来を切り拓いていく人間力の育成を図りたいと考えています。

同窓生の皆様が日々と築かれたり伝統を継承しつつ、指導の在り方等を常に模索し、新しい八

高を創造して地域社会の熱い期待に応えてまいりたいと思います。

県立八代中学校の開校に当たり、同窓会から、スクールカラーアーである緑色の記念テント一張りと、関山桜の記念樹を寄贈していただきました。また、開校記念式典、開校記念講演会等の開校記念事業の御支援を賜り、心から感謝申し上げます。これからの方々の益々の御発展と御健勝を祈念して御挨拶といたします。

# 八代中学・八代高女・八代高校 同窓会総会

平成二十一年度八代高校同窓会が、八月二十二日八代ホワイトパレスで開催されました。今年の総会は、徳永一幸(高四)同窓会長、瀬口春一(校長)名誉会長の挨拶、紀田有元校長(高九)、守屋充男(高一〇)関東地区同窓会会长、宮崎正郎(高一四)関西同窓会会长、富田徹也(高一〇)熊本市支部会長、伊佐学(高一九)福岡支部事務局長様の来賓挨拶などを賜り開催されました。

徳永会長あいさつ



永前会長が勇退され、新しく岡山元紀(高一〇)会長はじめ新役員の皆さんに選任され、岡山会長から徳永前会長へこれまでの功績に対し感謝状が贈られました。

なお、今年の総会は高校一七回生(五十年三月卒)が担当し、熊本県において初めての県立八



代中学校が開校した中高一貫教育の年を記念し、「絆・新たな出発」をテーマに、「語くう樂しく 同窓の(和・輪・話)」をサブテーマとして講演会や懇親会のお世話をさせて頂きました。



岡山新会長挨拶



岡山会長から徳永前会長への感謝状

## 講演会

総会後の記念講演会は、講師に独立行政法人日本理化学研究所北京事務所長の寺岡伸章氏(高一七)を迎えて「日本はすでに中国に抜かれているか」を演題に、中国での体験談をはじめ八代と中国との関りなどについて講演いただきました。



講演会 寺岡講師



会場受付風景

# 大同窓会懇親会

露きました。



懇親会の開会に先立ち、田中秀実（高二七）さんははじめ松井家に伝わる金春松融会の八高OBの皆さんによる能の演舞が披露され、会場は幽玄な能の世界に包まれました。

笠岡信也（高二七） 同窓会実行委員長の挨拶、岡山元紀（高一〇） 同窓会長、瀬口春一（校長） 名誉会長の挨拶のあと、徳永三幸（高四） 前同窓会長の乾杯の音頭で懇談に入りました。アトラクションとして幹事学年の笠岡実行委員長も参加している鏡町の「織り姫太鼓」の皆さんとい草をテーマに創作された和太鼓の演奏や本場アメリカで活躍され、現在、熊本に在住のダンサー浦川節子さん（高三七）によるジャズダンスが披



織り姫太鼓



中学校歌



創作ダンス



高校校歌



万歳三唱



引継ぎ



高校校歌

平成二十一年度 八代中学・八代高女・八代高校同窓会総会  
講演会懇親会を終えて・幹事学年二七回卒業年同窓会開催

今年の総会終了後、担当学年

高校二七回生（五十年三月卒）の同窓会を開催しました。前回の総会後、地元八代に在住する各クラスの幹事が毎月集まり、情報交換しあいながら横の連携を密にして、多くの仲間に参加してもらいつつに会合を重ねてきました。

六組橋本先生、七組新垣先生、九組森先生、十一組多武先生の参加を頂き、総会の手伝いに遠くから駆けつけてくれた仲間達と久しぶりに再会、中には卒業以来初めて会う友もいて、二次会、三次会と遅くまで話が弾み、次回の同窓会を楽しみに再会を誓いました。



# 各支部・地区同窓会からの「お便り」を紹介します。

## 関東地区同窓会

関東地区同窓会は、関東一都八県とその近隣に在住する卒業生、旧職員等を会員として活動しています。会員はおよそ一千四百名で、一〇回卒の守屋会長、十九回卒の中村事務局長を中心とし、学年幹事会を開催して連絡しています。活動は「総会・祝宴」を中心としており、「クラブ活動」や「任意の飲み会」等を行っており、ホームページやマーリングリスト等を連絡・情報開示に活用しています。以下に活動の内容を紹介します。

### (1) 総会・祝宴

#### ② 祝宴

総会終了後は乾杯をして、おいしい料理をいただきながら、先輩後輩入り乱れて再会を喜びながらの歓談です。時には就職や商談などになる場合もあるようです。今年はアトラクションで「クイズ大会」「リサイタル」を行いました。

総会・祝宴は毎年九月の土曜日に開催しており、二五〇名前後の会員参加をいたしております。企画・運営は、四十五歳で当番幹事になり、学年幹事会と協力して行なうのですが、けっこう大変です……。今年は三十五回卒が当番幹事で九月二十六日(土)に開催しました。盛況でしたので、内容を紹介します。

### クイズ大会

今年初めて行なったアトラクションですが、やつちろ弁や八代の物知りクイズなどのチーム対抗戦で大盛り上がりでした。「八代の名前の由来は、ご存知ですか?」ハつの城からなのだそうです。



クイズ司会

① 総会  
総会は、ご挨拶、祝辞、決算の説明承認など会の運営報告等が行われました。

物知りクイズなどのチーム対抗戦で大盛り上がりでした。「八代の名前の由来は、ご存知ですか?」ハつの城からなのだそうです。

### (3) ホームページ

ホームページは愛称「八高関東」といっており、一〇〇三年に「一〇十班」を結成して連絡、情報開示、お楽しみ等の目的で作成しました。通常は一日一〇〇～三〇〇アクセスですが、総会などの九月二十八日に二〇

人が活動を始めた予定です。サッカー観戦はJリーグと代表戦を中心として観戦会を行っております。今後はバスケットボール、絵画や音楽鑑賞、写真など



タクシーや消息の確認など、遠い親せきのよくなじみが得られ、すっと独特のよくなじみが得られ、すつきりします。関東地区の皆様はぜひ積極的にご参加ください。

また他の地域にお住まいの方は関東地区にお寄りの際には、同級生などに連絡を取つてみてください。飲食店などは山ほどありますので、大歓迎で迎えてくれると思います。

関東地区での住所変更は、ホームページ([www.85kantou.com](http://www.85kantou.com))をご利用ください。

現在、「街歩き同好会」「ラグビー観戦」「サッカー観戦」「Jリーグ研究会(ホームページ運営等)」が活動をしています。特に、八回卒の横田さんが主催される街歩き同好会は人気で、定期的に熊本の関係する名所旧跡などを訪ね歩いています。また、参加者はまだ少ないものの、

ラグビー観戦はトップリーグ、サッカー観戦はJリーグと代表戦を中心として観戦会を行っております。今後はバスケットボール、絵画や音楽鑑賞、写真など

が活動を始めた予定です。サッカー観戦はJリーグと代表戦を中心として観戦会を行っております。今後はバスケットボール、絵画や音楽鑑賞、写真など

が活動を始めた予定です。サッカー観戦はJリーグと代表戦を中心として観戦会を行っております。今後はバスケットボール、絵画や音楽鑑賞、写真など

### (4) まとめ

関東地区同窓会は、八代から

最も遠いところにある同窓会です。個の時代と言われるいま、活動、転入、転出などの場合には、ご利用ください。

### (2) クラブ活動

九アクセスの新記録を達成しました。総会・祝宴の案内、写真、幹事会の議事録、クラブ活動の案内などを掲載していますので、

[www.85kantou.com](http://www.85kantou.com)をぜひご覧ください。また、ホームページでは住所変更届けも出来ますので、関東地区での異動、転入、転出などの場合には、ご利用ください。

# 八高同窓会 福岡支部の歩み

八高同窓会福岡支部の歴史は、平成1年を通ります。今年度で退任されました前八高同窓会会長の徳永三幸氏が福岡在住の時代と、当時二十歳を称して同期生で会を催しておられたのですが、この会を母体として福岡在住の八高卒業生に囲むかけ、発足させたのが八高同窓会福岡支部です。最初の福岡支部の同窓会が開催されたのが、平成2年です。この時は設立総会といつともあって100名を超える出席でした。以来、回を重ねて次回の福岡支部の同窓会は二十一回目となります。そこで第一回からの歴史を、その時の会長、副会長そして幹事長も含めて順を追つて振り返つてみたいと思います。

<b>第1回</b> (設立総会 平成2年2月17日) 会長 石崎 副会長 紙谷 // 松岡 雄治 // 八尋 文代 // 良夫 (昭6年卒) // (昭16年卒) // (昭15年卒) // (昭25年卒)	<b>第2回</b> 平成3年2月23日 於 八仙閣 会長 紙谷 副会長 八尋 // 松岡 雄治 // 德永 文代 // (昭15年卒) // (昭25年卒) // (昭27年卒)	<b>第3回</b> 平成4年2月22日 於 福岡国際ホール 担当幹事 昭28年卒 (代表 平野 黒木) 担当幹事 昭29年卒 (代表 名和)	<b>第4回</b> 平成5年4月17日 於 福岡国際ホール 担当幹事 昭27年卒 (代表 德永 佐野)	<b>第5回</b> 平成6年2月19日 於 福岡国際ホール 担当幹事 昭30年卒 (代表 黒本 今嶋)	<b>第6回</b> 平成7年2月18日 於 福岡国際ホール 担当幹事 昭30年卒 (代表 紙谷 良夫)	<b>第7回</b> 平成8年2月17日 於 シーホーク ホテル&リゾート 担当幹事 昭31、昭32年卒 (代表 小野 古賀)	<b>第8回</b> 平成9年2月17日 於 八仙閣 会長 松岡 雄治 副会長 増田 貴志 // 佐藤 好助 // 楠田 (昭36年卒)	<b>第9回</b> 平成10年2月21日 於 西鉄グランドホテル 担当幹事 昭37年卒 (代表 吉田、後藤)	<b>第10回</b> 平成11年2月27日 於 八仙閣 担当幹事 昭38年、39年卒 (代表 西、緒方)	<b>第11回</b> 平成12年2月19日 於 八仙閣 担当幹事 昭40年、41年卒 (代表 萩原深穂子)	<b>第12回</b> 平成13年2月10日 於 ソラリア西鉄ホテル 担当幹事 昭42年卒 (代表 松岡、野口、伊佐)	<b>第13回</b> 平成14年2月16日 於 八仙閣 担当幹事 昭43年、44年卒 (代表 古川、萱嶋) ☆ 德永三幸氏は本部会長に就任	<b>第14回</b> 平成15年2月28日 於 ホテルステーションプラザ
<b>第15回</b> 平成16年2月15日 於 博多全日空ホテル 担当幹事 昭45年卒 (代表 仲田) ☆ 代表幹事会を設置	<b>第16回</b> 平成17年2月19日 於 ホテルレガロ福岡 担当幹事 昭46年、47年卒 (代表 後藤、小田) ☆ 秋山幸一氏と恩師二木武雄先生のトーク	<b>第17回</b> 平成18年2月18日 於 ホテルレガロ福岡 担当幹事 昭48年卒 (代表 国田、水上)	<b>第18回</b> 平成19年2月10日 於 八仙閣 担当幹事 代表幹事会で運営	<b>第19回</b> 平成20年2月9日 於 八仙閣 担当幹事 昭41年卒 (代表 辻本)	<b>第20回</b> 平成21年2月14日 於 八仙閣 担当幹事 昭42年卒 (代表 野口、松岡、伊佐)								

第21回は 平成22年2月13日 於 八仙閣 にて計画しております。  
皆様どうぞご出席下さい。

担当幹事 古川 晶子、大塚裕規子、井手 修 連絡先：092-841-3612(古川さんの御自宅のTelです)

八代高校同窓会熊本市支部だより

「道」発刊に寄せて

熊本市支部  
富田敏也

富田徹也（第十回卒）

晩秋の候、皆様方には、ご健勝にてお過しのことと存ります。待望久しかった八代高校同窓会報「道」が、新旧会長始め多くの方々の尽力により発刊の運びとなりました。心からお慶の申し上げます。

熊本市支部の状況も、本校同窓会や他支部に負けず劣らず、まさに多士済々、各界各層で印象深い活躍を頂いております。また、同窓生とは言え、日頃は縁遠いことが多いのですが、ふとした拍子に「エツ！八高ですか」…「私もです。どうぞよろしく」というよくな場面は誰にでもあって、本当に力強い、ありがたいと思う」とがよくあります。

勢の中ではあります、同窓の紹介を大切にしながら、本校の発展と皆様方の「多幸を祈りつつ、そしてまた、「道」が、会員の皆様方を結ぶ架け橋となる」と

を期待しながら、「道」発刊への祝辞といたします。なお、会費納入へのご理解ご協力もどうぞよろしくお願い申し上げます。

鶴屋ホールで第一回八高同窓会が開催された。本市支部の懇親会は何と七五〇人の有志が押しかけ、会場に入りきれずロビーまであふれマンマンとした熱気の中で行なわれて早や二十年近くの歳月が流れた。会長に当時熊大工学部の教授だった井上正康先生を選び、講師には政治評論家内田健一先生、来賓に岩尾豊八代市長、馬場、渡瀬両代議士が顔を揃え、それはそのまま華やかで支部の同窓会とは思えぬ光景で他校の注目の的となるスタートだった。その設立主旨は熊本市議会議長、久保一明県議会議長、大石文夫市議会議長を物々しく熊本で開催、

そして今尚行なわれてゐる有志による祝祭等々この会が果した役割は実に大きいものがある。その会が今日まで若い後輩の皆さんに脈々と受け継いでおられる事は本当嬉しく限りです。その背景には一代目会長宮嶋昭一先生、二代目の中村順行先輩、そして現在の富田徹也氏といった素晴らしい会長に恵まれた事が何なんと言つても大きかったと思つてゐる。どうか今後共更に輪が益々大きくなり同窓生同志の強い絆が結ばれる事を願つております。

最後にこの会の設立、運営に携わつていただいた同窓生の中で鬼籍に入られた方が沢山おられます。この紙上をおかりして心から哀悼を祈り申し上げたいと思います。



## 同窓会熊本市支部からの 「お知らせ」

## ◎第15回支部総会の開催について

平成22年10月23日(土)  
於：熊本テルサ

連絡先 村山光信  
☎096-322-6718



秋山監督祝賀会 平成21年1月22日



# 八中回卒46・47回卒



第16回同窓会総会 H18.10.7 於 新大阪屋

「旧制八代中学校  
四十六・四十七回卒業生」  
私達の中学校時代は、大東亜戦争に始まり、太平洋戦争に終るという日本の運命をかけた未だかつて経験しなかった戦争の時代でした。普通は、五年生まで在学しなければならない生徒たし、三、四年生では、学徒動員として文政飛行場つくりや、田浦の東海電極工場や水俣の工場で、空襲を受けながら、命がけの仕事に従事してきました。卒業後は、同窓会兼総会をして、お互い励まし合って頑張ってきました。その会も傘寿を迎える年齢になり第十六回で解散しました。

後輩の皆様も、八高魂を忘れず頑張られる」と心よりお祈りいたします。

岡山 敏雄

# 中回卒48・高回卒1

## 私たちの同窓会

私たちちは昭和二十三年春八代中学校を卒業し、翌二十四年春八代高校を卒業しました。

当時は戦後間もなく、世相混沌たるなかで「同窓会を開こう」と

も戦争のため四年生で卒業した組と五年生で卒業した組があり、四十六回卒と四十七回卒ができただわけです。一、二年生の頃は、戦争で人手不足になつた農家へ手伝いや、軍事教練の為、落ちついた授業も受けられなかつたし、三、四年生では、学徒動員として文政飛行場つくりや、田浦の東海電極工場や水俣の工場で、空襲を受けながら、命がけの仕事に従事してきました。卒業後は、同窓会兼総会をして、お互い励まし合つて頑張つてきました。その会も傘寿を迎える年齢になり第十六回で解散しました。

後輩の皆様も、八高魂を忘れず頑張られる」と心よりお祈りいたします。

岡山 敏雄



第20回神さび同窓会 H20.11.20 於 グランドホテル

その後は七年後、六年後、二年後と開催間隔をちぢめながら、平成十年の第十回からは毎年開くようになり今日に至っています。

私たちの同窓会は遠慮、古稀、喜寿、傘寿等節目のお祝いを入れながら、同時に、平成四年の第七回例会からは、毎回、会員

念誌「回想—その歳月の軌跡、そして今」(B5判一三二頁)を発行。その後は、会報(A4判八・十四頁)を五回発行しています。

一方、平成十一年四月には記念誌「回想—その歳月の軌跡、そして今」(B5判一三二頁)を発行。その後は、会報(A4判八・十四頁)を五回発行しています。

講演内容は、自らの多年に亘る貴重な体験を織りまさながら、それぞれの人生観にもふれ大変興味深いものです。

が交替で記念講演を行なつています。

# 高女回卒43回卒

## 女子高生の思い出



東京旅行 二重橋前にて

第二十一回例会は平成二十一年十一月二十四日開催予定で、以下参加者は同窓生一千七人、夫人三人の三十名でした。

豊田 澤味

第二十一回例会は平成二十一年十一月二十四日開催予定で、以下参加者は同窓生一千七人、夫人三人の三十名でした。

一番思い出に残る同窓会は平成十二年十月の東京旅行です。戦中戦後の学生生活で行けなかつた修学旅行気分を、十二分に味わう事が出来た二泊二日の旅でした。

平成十三年よりは、会員皆様の意見を聞き、「木綿葉会の集い」と名づけ、毎年五十名近くが、楽しみにして集まっています。

平成二十年五月には、皆さん元気な内に阿蘇一泊旅行を実施、雄大な阿蘇の景色と、温泉気分を充分に満喫致しました。今年の五月は母校訪問が実現。

の経過は何処へやら、心は一に八高生に返つていた。

夜の懇親会では、久方の再会者と杯を酌み交わし、参加出来なかつた友の事を語り合い夜が更けて行つた。

翌日の霧島の空は澄み渡り、高千穂の峰々が我々の行方を祝つかの様に、神々しく輝いていた。

## 十一回卒 白浜 邦彦



# 八高 12回卒

## 男女一緒の 夢の修学旅行

か修学旅行は女性のみであった。昭和三十三年一年の時、なぜ



最後の学年であり、後の男女一緒に旅行の実現させた学年でもある。六十歳を期に三年毎に学生時代に返り、今も夢の修学旅行を楽しんでいます。一回目は東京で八十七名参加の同窓会を催し、翌日箱根・熱海・鎌倉と旅行。二回目は、八代で七十六名参加の同窓会翌日、阿蘇周辺を観光し、黒川温泉に宿泊。昨年は、七十名余りの参加で晚秋

名参加の同窓会翌日、阿蘇周辺を観光し、黒川温泉に宿泊。昨年は、七十名余りの参加で晚秋

の京都～伊勢神宮参拝の旅行を満喫しました。最後の夜、鳥羽で東京在住の男女の二人が突然私達にお礼を言わせてと感謝の言葉を涙ながらに述べて頂き、世話人一同も感動し、これまでの苦労の甲斐があつたと大変喜び涙しました。

高十一回卒堀潤会会長 清藤 平治  
振り返つてみると、十代後半の多感な時代には、それぞれころ苦い思い出の一つや二つはあるかと思う。しかし、四十年も経つと、もう時効である。

お互い年齢を重ねての再会であつた。なじやかで、落ち着いた雰囲気の中で会は進み、これからの人生を確かめ合つような金額を残して会は閉じた。

## 第十九回卒 吉津 憲史



# 八高 19回卒

## 還暦同窓会

## 第十九回卒 吉津 憲史

第十九回卒「還暦同窓会」は、平成二十年十月一(十一)日妙見祭前夜、一四一名出席のもとに開かれた。卒業後四十一年振りの再会である。当時はまだ集団就職列車の名残りをとどめる、高度経済成長の時代である。そういう意味において、卒業後の四十二年間の人生は、それぞれ波乱に満ちていたであろうことは想像に難くない。お互い白髪交

じりになつていて、その苦労を

## 運動場に雑巾がけ

第十九回生昭和四十二年三月卒業(五九四名)は永徳校舎(現在の八代高校)になって最初の卒業生である。すでに四十年以上になり、私には思い出深い学

垣間見たい」とは出来るが、学生時代の面影はその表情の記録に、しっかりと残つている。

私事であるが、当時は級友及

生の挨拶を聞きながら、頭が下が

つた。

建設途上にあり一学年分の教室しかなかつた。地面に大きなパイルを打ち込む大音響に授業中悩まされたものである。理科系、芸術系、体育家庭は旧校舎(松江城校舎)で受けねばならず、二キロ近く、野道を抜け毎日の往復しなければならなかつた。校舎のまわりは一面のたんぽだつた。グループになり、独立になり、移動して行くながめに時には複雑な思いに駆られることだった。一年たつて昭和四十年、一年生になると十七回生の卒業で空いた旧校舎にもむづり、どうにか正常な学園生活にはいつた。そこにはかつて私が生徒として学んだ教室があつて、その教壇に立つのは感慨無量だつた。だがそれは半年で終わり、その年九月、伝統ある松江城町の八代高校は終焉を告げた。生徒は炎天下、各人使用中の机、いすを抱いで新校舎に戻つてきした。そこに二十回生が先住者顔で迎えていた。ところどその年だったが、翌年だったか、运动会の朝方少雨に見舞われ、開会するかどうか迷つた。運動場は未完成で通水性とほしくなおさら決めかねた。そのとき、グラウンドの中ほどにバケツを持つた数名の姿があつた。見ると十九回の女生徒達が水溜りにかが

校長、教頭先生の「案内で校内を巡回、真剣に取り組む授業風景と今年度より併設された八代中学校の可愛い生徒さんの授業も見学致しました。その後第二会場に移り、「駄走」を頂きながら頭の体操のクイズ等で大賑わいでした。



〈上〉学校訪問 中学生の授業参観

〈右上〉東京旅行 ホテルにて

〈右下〉南阿蘇同窓会 トロッコ列車を待つ



私達も、傘寿を迎える歳になりました。これから的人生ゆっくりと歩いていきたいと思います。八代同窓会の発展をお祈り申し上げます。

八代高女四二回卒 西田 恵美  
下の昭和二十年入学から昭和一十六年卒業のうち三十年目にして初めての同級会を開催できました。昭和五十六年六月に第一回を海士江町の旧出雲会館にて開催。この時に会名を「かりいも会」と名付けました。戦時下の入学の頃、宮地町の松林の開墾地でかりいも栽培に汗を流しましたことに因んだものでした。爾来、昨年平成二十年の「喜寿の会」で十回を数えました。

ちなみに開催年を示すと次の通りになります。

	開催年	出席者
第一回	昭和五十八年	発足
第二回	昭和五十八年	六十六名
第三回	昭和六十一年	九十名
第四回	平成元年	七十九名
第五回	平成四年	（還暦）一八〇名
第六回	平成七年	
第七回	平成九年	
第八回	平成十三年（古希）一	
四三名		
第九回	平成十五年	八十五名

八高関西三三会（昭和三十三年三月卒業の関西在住者の会）の恒例「懇親バスツアード」で鳥羽港の沖合に浮かぶ「神島」を訪ねました。この島は一昭和二十九年新潮社からの発刊された三島由紀夫原作「潮騒」の舞台となつた島として有名です。



神島港にて  
「神島」と「潮騒」の説明を受けました。  
昭和六十年までに五回も映画化され一清々しい思春期の恋と島での滞在時間は昼飯タイムだけになってしまい、伊良湖岬行けになつてしまい、伊良湖岬行船待ちながら「神島」と「潮騒」の説明を受けました。

佐田浜港から神島までは定期船で約四十分ですが、当日は一菅島水道附近で突然的な濃霧が発生して途中の菅島港で足止め！神島港には七十分遅れで着港しました。計画では一ボランティアガイドの人たる八代（やつしの）神社や神島灯台など一島内の散策案内を願っていましたが、島での滞在時間は昼飯タイムだけになつてしまい、伊良湖岬行きになつてしまい、伊良湖岬行船待ちながら「神島」と「潮騒」の説明を受けました。

田市旭町四一—〇一  
—五九六一〇〇四 大阪府岸和田市旭町四一—〇一  
—一九八〇  
e-mail/bin-sho-0421@nifty.com

\*文責：橋口 敏昭  
「潮騒」は昭和二十九年から二十世纪までに五回も映画化され一清々しい思春期の恋と島での滞在時間は昼飯タイムだけになつてしまい、伊良湖岬行きになつてしまい、伊良湖岬行船待ちながら「神島」と「潮騒」の説明を受けました。

（つたかずい）の嗜むことわざ

ぞ関西へ集ひてわづ。

## 高回卒 からいも会 「喜寿の会」開催までのいろいろ

私たちの会（高二卒）は戦時 下の昭和二十年入学から昭和一十六年卒業のうち三十年目にして初めての同級会を開催できました。昭和五十六年六月に第一回を海士江町の旧出雲会館にて開催。この時に会名を「かりいも会」と名付けました。戦時下の入学の頃、宮地町の松林の開墾地でかりいも栽培に汗を流しましたことに因んだものでした。爾来、昨年平成二十年の「喜寿の会」で十回を数えました。

ちなみに開催年を示すと次の通りになります。

## 高回卒 八高関西三三会（昭和三十三年三月卒業の関西在住者の会）

八高関西三三会（昭和三十三年三月卒業の関西在住者の会）の恒例「懇親バスツアード」で鳥羽港の沖合に浮かぶ「神島」を訪ねました。この島は一昭和二十九年新潮社からの発刊された三島由紀夫原作「潮騒」の舞台となつた島として有名です。



神島港にて  
「神島」と「潮騒」の説明を受けました。  
昭和六十年までに五回も映画化され一清々しい思春期の恋と島での滞在時間は昼飯タイムだけになつてしまい、伊良湖岬行きになつてしまい、伊良湖岬行船待ちながら「神島」と「潮騒」の説明を受けました。

佐田浜港から神島までは定期船で約四十分ですが、当日は一菅島水道附近で突然的な濃霧が発生して途中の菅島港で足止め！神島港には七十分遅れで着港しました。計画では一ボランティアガイドの人たる八代（やつしの）神社や神島灯台など一島内の散策案内を願っていましたが、島での滞在時間は昼飯タイムだけになつてしまい、伊良湖岬行きになつてしまい、伊良湖岬行船待ちながら「神島」と「潮騒」の説明を受けました。

（つたかずい）の嗜むことわざ

ぞ関西へ集ひてわづ。

## 高回卒 振り返れば五十年、そして『古希』

新しい回恋会報が発行される事となつた。田拾余年の歴史を持つ母校の同窓生も、全国各地で活躍の事と思われる。

我々は、昭和十五～六年の生まれで、今年は卒業五十周年、そして古希を迎えた。

前年の晚秋にクラス幹事数名が集まり、「古希同窓会」開催の内容検討に入つた。

卒業月と同じ三月に開催する事に決定し、新年に入ると直ちに準備に着手した。

当団は小雨が降っていたが、車中の三十一名は五十年の歳月

みんなで雑巾をかけているのだけだった。

やがて開会が宣言され運動会は見事に終わった。それは長く忘れられない思い出である。

いま、あらゆる面に整備されてみるとな学園に成長し、今昔の感に耐えないが、十九回生も還暦を過ぎた。全国に衷心からの感謝したい。

今後も誇りと寛容の精神を忘れず人世の荒波を乗り切つて行くよう祈念しています。遠い思い出をたどりつつ、ありがとう十九回生。

田中 宮嶋 英一

## 高20回卒 八高二十回

### 卒業生の 「還暦同窓会」 を開催して

昭和四十三年に八高を卒業した私たち第二十回同窓生は、平成二十一年に還暦を迎える」と

で、年の初めの一月三日には「還暦同窓会」と銘打って、六年ぶりとなる学年全体の会を全国の仲間に呼びかけました。

前年の平成二十年から準備に入り、各クラスの幹事二十二名が集まり、「還暦同窓会」当田へ向けての会議を重ね、七月に第

一次案内を送付し、十月に連絡の取れない仲間への呼びかけの手紙を行いました。その間、当日の会場の確保や催事の計画等を話し合いました。

私の結果 遠くは十葉

東京、愛知、大阪などから一二七名もの参加者があり、遠路広島からは恩師である衛藤先生が見えられ、同窓生一同ありがとうございました。

現在の八高校舎は、私たち二十回卒業生が新校舎落成と同時に一年生から使用した懐かしい校舎でもあり、当時の卒業アルバムの全体写真を撮った中庭に全員が集まっての記念撮影が「還暦同窓会」のスタートでした。

その後、「ホワイトパレス」に会場を移しました。

まず開宴に先立ち、秀岳館高校の生徒達により、還暦を祝して縁起のいい「和太鼓」が打ち鳴らされ、続いて実行委員長として、「人生の一区切りを付けて、人生の一区切りを付けて久々の再会を喜び合い、高校時代の友情を育み、親睦とこれからも充実した『歳』を重ねた

やかに楽しい瞬く間に時間が過ぎ去り、またの再会を約束して深夜近くの閉宴となりました。

この「還暦同窓会」の開催に当たっては、八代在住の幹事がそれの持ち場持ち場を確実に実行し、一年をかけて取り組んだ手厚い協力があつての成功でした。

最後に、参加していただいた同級生と、運営にあたった幹事二十二名に感謝すると共に、全員がまたの再会まで健康でいられますようにお祈りいたしました。

（第二十回卒業生「還暦同窓会」  
実行委員長） 松山 傑哉

## 高47回卒 八高七年卒

### 平成七年卒

この度は、八代高校同窓会会報の発刊誠におめでとうござい

ます。日頃より同窓会幹部の方々をはじめ、同窓会活動に従事されておられます役員の皆様に感謝いたします。

私たち、平成七年卒同窓生は

今年の一月に学年同窓会を開催いたしました。私たちの学年での同窓会は今回で一度目の開催

でした。八代高校を卒業してから十四年の歳月がたち、年齢も三十二歳、それぞれが仕事においても、また家庭での育児等と一番忙しい時期の中一三〇余名の仲間が集まることが出来ました。それに加えまして先生方に多く参加していただき、高校時代を振り返り同窓会の意義深さを痛感した次第です。

卒業後の長い歳月の中、少しずつ薄れ行く青春時代の記憶…。共に学び、遊び、グラウンドを駆けた仲間が一堂に集い語り合えば、一瞬にして高校当時の思い出が蘇ります。

同窓会とは本当にありがたいものと、重ねて痛感させられました。

私たち平成七年卒の同窓会は、青春の記憶を今一度呼び戻し胸に焼き直して、散会したものでした。

毎年、八月に開催されております同窓会総会及び懇親会には現状で中々参加出来ないでいる状態ですが、これを機に他学年の同窓生の皆様とも交流を深めるべく、学年からの参加及び協力を呼びかけていきたいと思います。

八代高校同窓会の今後の益々の発展を祈念いたします。

高四十回卒 庭本 正康

# 八代中学座談会



厳しかった軍事教練、学徒出陣、空腹の日々。全てが、戦争に翻弄された八中時代。  
そんな中で培われた、強い忍耐力と行動力、そして、永遠を誓った友情と連帯。  
伝統の八中精神は今でも、一人ひとりの胸の中に。



池鯉鮒 登さん

(徳永) 早速ですが、八中時代は何かと面白い話があつたと思いますが、お聞かせください。

八高一〇〇年誌に「南九州一周自転車の旅」という記事があつたが、参加された方はいらっしゃいますか。

(小松) 当時は、先生全員につけていた者もいました。かなり強行軍でしたが、一番の思い出です。

(徳永) 八中から予科練によく行かれたといいますが、どうでしたか。

(小松) 予科練には八代中学から、二〇〇人以上の人気がいったでしょう。当時は、先生方がから、「予科練に行かない者は、国賊だ」といわれた時代だったですね。

(郡) 私は、昭和十九年に鹿屋の予科練に入隊し、その後、幹部候補生として海軍に入隊しました。昭和二十年の卒業当時は、長崎の潜水艦基地に配属されました。卒業式に参加しなかつたのですが、後で、卒業証書が送

参加者	(敬称略)
司会:徳永三幸	(前八高同窓会会長高4回)
池鯉鮒登	(中42回)
上田義行	(中43回)
橋野 備	(中43回)
郡 和之	(中44回)
森 精一	(中44回)
小松八郎	(中45回)
高橋 栄	(中45回)
岡山敏雄	(中47回)
緒方忠典	(中48回)

## 八中時代の楽しい思い出話



上田 義行さん

## 全てが戦争に翻弄された八中時代

やめになり、当時有名であったマレー半島進撃の銀輪部隊に影響され、五年生二〇〇名中一八六名で行いました。(太郎峠を越え、水俣から鹿児島を回り、霧島温泉、加久藤峠を越え、人吉から八代への五泊六日の旅でした。担任四名、配属将校二名、自転車屋五名が同行しました。

ブレーキが壊れているので、加久藤峠を下る際、丸太を引っ張っていた者もいました。かなり強行軍でしたが、一番の思い出です。

(徳永) 例え、背が高かった英語の齊藤先生はキリン、非常に厳しかった数学の松永義春先生はもうぐり、英語の池田先生はぽんくら、柔道の島田先生はマンモス、剣道の澤先生は武藏と呼び、武蔵先生は、京都の武道大会に歩いて行かれたそうです。そのほかキュウリ、鯖、山本権兵衛といふ名の先生がおられました。

たな。懐かしか。

(橋野) よく講演会がありましたが。大島出身の加来大佐が来られ、講堂で、鹿児島湾での奇襲攻撃の演習だったんですね。昭和十八年には偽講師があらわれ、西郷隆盛の話で熱弁を振るつたが、講師料を取られ、校長をはじめ学校中がだまされました。あとで新聞に載つて分かりました。(笑)



昭和14年・行軍演習（水前寺公園、前は38式歩兵銃ガ）



橋野 備さん

「われてきました。

（徳永）当時の入試や学校の試験はどうでしたか。

（岡山）当時の入学試験は、「官軍と薩軍が戦った坂は何か」というような、口頭試問と、跳び箱の垂直飛び、鉄棒の逆上がりや蹴りあがり、バスケットボールのショートなどの体育実技でしたね。

（小松）学徒動員と軍事教練ばかりで、勉強はありませんでした。四十五回生は、昭和十九年四月の中学校改正令のため四年課程で修了することとなり、四十四回生と一緒に卒業しました。（池鯉鮒）週一回の正課だった軍事教練は特に厳しかったですね。その総まとめとして、十一月三日に運動会がありました。運動会といつても戦争（）で戦闘が圧巻で、戦争さながらの情景でした。私は砲兵の役でたかんぱにカーバイドを詰めて火をつけ大きな音を出した経験があります。

（小松）郡部から受験する人はちは、旅館に泊していましたね。

（上田）八中はエリート校で、当時は村一番の秀才が来ていました。四年と五年は合同の学力テストがあつたが、常に四年生の成績がよかつたですな。優秀な人は、四年生修了時に海兵や陸士に入学したのです。

（小松）当時は、東大にもよく合格していたんですね。

（徳永）戦争で大変な時期だと思いますが、当時の授業はどうでしたか。

（小松）学徒動員と軍事教練ばかりで、勉強はありませんでした。

（徳永）四年の中学校改正令のため四年課程で修了することとなり、四十四回生と一緒に卒業しました。（池鯉鮒）週一回の正課だった軍事教練は特に厳しかったですね。その総まとめとして、十一月三日に運動会がありました。運動会といつても戦争（）で戦闘が圧巻で、戦争さながらの情景でした。私は砲兵の役でたかんぱにカーバイドを詰めて火をつけ大きな音を出した経験があります。



郡 和之さん



昭和14年・農場での集団作業

（徳永）（）ことで、軍事教練は非常に厳しかった。昭和十七年の秋、五年生時に熊本県下中学生の合同演習が帶山の練兵場周辺で行われました。

銃と空包、短剣を持ち、実践的ながらの演習でしたね。前日の夜に川尻駅に集合し、一晩かけて、緑川を上って御船中付近まで歩き、健軍を周り、帶山に着く強行軍でした。野営してい

たら、八代中だけ早朝三時に起これ、奇襲攻撃に参加したが、斥候が全部捕まり、奇襲攻撃は失敗でした。早朝には敵の熊高・済々等の城北軍に囲まれ、隊長の突撃命令で切り込んだが、負

けました。

（緒方）二年次からは、学徒動員で、外港の土嚢引きやセメント搬入、一、〇〇〇メートル徒步競争、手榴弾投げ、水泳、鉄棒の体力テストで、各種目に上

中初級の三階級があり、全種目上級者は、金色バッヂがもりえて、鼻高々でした。

（池鯉鮒）八中生は、卒業したら軍隊の幹部候補生になるのだ

## 八中時代の学校生活

（徳永）八中時代の先輩との関係や男女関係など学校生活をお聞かせください。

（池鯉鮒）男女七歳にして席を



森 精一さん

（森）当時は、生活態度がやかましく、ズボンのポケットに手を入れただけで不謹慎と言

われ、先生に殴られ、職員室前に座らせられました。通る先生方に「おまえは何で座っているのか」と質問され、「ズボンのポケットに手を入れていた」と答えると、その都度殴られたです。三〇数回殴られました。

（緒方）一日十一時間労働で、とにかく食べ物もなく、当時の中学生は体も小さく、過酷なものでした。（岡山）文政の飛行場建設もやりましたね。

（緒方）一日十一時間労働で、とにかく

食べ物もなく、当時の中学生は体も小さく、過酷なものでした。（岡山）文政の飛行場建設もやりましたね。

（緒方）先輩方は神様で、廊下

をすれ違う際には敬礼しなければなりませんでした。もし、欠礼でもしたならば、すぐに便所の裏に呼び出されリンチですた。（笑）

同じやうせすとこつ」といふことで、男女交際はやかましかつたです。

道路で女学生と遭遇した場合、「回れ右」で、右に折れるか迂

回しなければならなかつた。(笑)

(郡) 白旗事件といつのがあつたそうです。軍事教練の先生が

八中の屋上から八代高女の屋上にいる女学生に手旗信号を送り、

見つかつたので、大問題になつたそです。

(岡山) ハンカチ事件もありま

した。屋上から当時つき合つて

いた女学生に、ハンカチを振つたら見つかり、一週間の謹慎処

分を受けた人がいました。それ以後、屋上に行くのが禁止にな

りましたね。

(小松) 戦前は部活動が活発だ

つたですね。バスケット部は名

門で、県大会では常勝校でした

ね。ところが、戦争中は全て廃

部となりました。ランニング、

テニス、バレー、水泳、柔道、

剣道も盛んで、強かったです。

## 厳しかつた食糧事情

小松 八郎さん



## 戦後の民主教育 一変した八中生活

(徳永) 終戦を境に学校はどう変わりましたか。



高橋 栄さん

(徳永) 中学当時の食糧事情はどうでしたか。

(上田) 学徒動員で農家に手伝

いに行って、お礼に銀飯（米だけのご飯）をたっぷり食べさせ

てもうつたことがありました。

(緒方) 私たちの時代は、非常に厳しかつたです。終戦後は、

毎日が、ひもじい、ひもじい思

いでした。米の飯は雑炊でしか

食べられませんでした。孫達に

そのことを話しても信じてはも

らえません。

(高橋) 当時は、食糧品は統制

品で、経済警察の取り締まりが

大変でした。からいもの闇取引

で捕まつたことがあります。熊

本の保田窪にからいもを買つに

行つた帰り、松橋駅で警察に捕

まりました。散々怒鳴られまし

たが、警察官の知り合いが近所

に住んでいたので、結局見逃してもらいました。(笑)



緒方 忠典さん

(徳永) 最後に八中への熱い思

いをお聞かせください。

(上田) 八高という名前には、

懐かしさを覚えません。八代中

の建物もなくなり空しいです。

今日の座談会の会場を間違えて、

八高に行つたら、「八代中学」

の看板がありました。感無量で

した。

(緒方) 皆さんば、八代市役所

西側にある、八中址の記念碑を

からいも畑で、掘り尽くされ、

悲惨なものでした。ですから、

最初やつたことは自分たちで校

庭や運動場の整地でした。芝生

を敷いて、テニスコートを作つ

たり運動場の復旧作業など毎日

が大変でした。やつと昭和二十

年に運動会をすることができ

(徳永) 本日は、八中時代の貴重なお話を聞いていただき有り難うございました。十一月五日には新生県立八代中学の開校式典が行われます。先輩として「出席いただき、八代中学の船出をともに同窓生の一員としてお祝いしていただければ幸いです。

本日は有り難うございました。

司会：徳永 三幸さん



司会：徳永 三幸さん

読んだことがありますか。読むと、我が青春の想い出で胸がいっぽこになつて泣けました。



スカートの長さは、膝下二十八  
と決められていました。髪型は  
一年は「おかっぱ」一年は「分  
け」三年は「括り」でした。  
東京から疎開してきた子の髪形  
がかっこよくて、皆真似たもの  
です。

(山本) 先生も厳しかったが、  
上級生は神様でした。廊下です  
れ違つ時挨拶をしなければ、後  
で屋上に呼び出されものです。  
(笑)

昭和11年・家庭科授業（刺繡後ろにミシンが見える）

(佐渡) 昭和九年に、水の江滝  
子（宝塚のマドンナ）が熊本に  
来た時、九人位の高生が、学  
校をさぼって見に行きました。  
後で見つかり、先生に「おひど  
く怒られたようです。当時は、  
映画でもえ禁止でした。そんな  
（原田） とんでもない。私たち  
の時代は、教室で、先生を前に  
して、静かにみんなで食べたも  
のです。

### 戦争の足音

(澤井) 戦時中のことです。  
私は、空襲警報が怖くて、よく  
夢でもうなされたが、皆さんは  
どうでしたか。

(松本) 比叡部隊という京都の  
部隊が、高女の校舎に駐屯して



山本 佑子さん

時代、八代高女では、千佛町の  
寿劇場での世界的オペラ歌手の  
三浦環の「お蝶々夫人」の鑑  
賞会や、講堂での、辻久子の「バ  
イオリン演奏」や声楽家藤原義  
江の独唱会などがありました。  
八代高女は、文化や芸術を重ん  
じる高向さがありました。

(野藤) 戦争中は、生徒へのし  
つけが厳しかったのですが、戦  
後は、急に自由な雰囲気になり、  
上ることなどが禁止だった屋上に行  
つて、友達と弁当を食べてまし  
た。

(原田) とんでもない。私たち  
の時代は、教室で、先生を前に  
して、静かにみんなで食べたも  
のです。

### 思い出の修学旅行

(澤井) 皆さんの中年では、修  
学旅行はどうでしたが。

(木下) 東京への修学旅行は、  
私たちの学年で最後でした。宮  
城前奉仕団として、皇居前広場  
の整備作業の勤労奉仕でした。  
体操服にブルマー姿、頭には日  
の丸の付いた鉢巻を真一文字に

きりと締め、神田の旅館から  
十一月四日に南九州一泊二日の  
（佐野） 修学旅行の再開は私た  
ちの学年からで、昭和二十一年



昭和10年・修学旅行（この年の卒業生は92名）



木下 信子さん

いましたね。

家庭科室で調理をされていた  
が、遠くから眺めていると、赤  
飯を炊いてるよう見え、大  
変羨ましく思いました。後でわ  
かったのですが、実は、赤飯で  
はなく、ヒエいっぱいのご飯だ  
ったそうです。兵隊さんもすい  
ぶん苦労しているんだなと思い  
ました。近くの川で飯盒を洗つ  
ておられたが、将校の飯盒に付  
いている米粒を、美味しそうに  
食べておられた兵隊さんが可哀  
想でした。

(高木) そういえば、私たちの  
入学試験の時、口頭試験で「空  
襲警報が出たらどうする？」とい  
う問い合わせました。

(松本) 三年生の終りに先生が  
子豚を連れて来、私を含め、四

人ぐりいで世話をすることにな  
りました。毎日リヤカーを引つ  
張つて、本町に残飯を貰いに行  
っていました。便所の横に豚舎  
が作られ、毎日掃除したもので  
す。また、豚を近くの川に連れ  
て行き、洗つてやると、きれい  
なピンク色になり、豚もたじそ

行機だから、きっと空中分解す  
るだらうと思つていました。(笑)  
（木下） 当時工場には材料がなく仕事  
といえば、工具を磨くのが毎日  
でした。仮に、材料があつても、  
素人の女学生が手作りで作る飛  
行機に入社しました。

（野藤） 私たちの時は何にもな  
かかったです。

（佐渡） 私たちは、乃木神社、  
明治神宮、江ノ島、日光（じこう）、  
大変楽しかったです。その他、  
見知り遠足は、日奈久行きで、  
往路は徒步、復路は、汽車でし  
た。龍峯登山は年中行事で、ブ  
ルマーをはいて登りましたね。

（佐野） 修学旅行の再開は私た  
ちの学年からで、昭和二十一年

# 八代高女座談会



白く光り輝く美しい校舎と憧れのセーラー服。

礼節と作法、高い教養と文化を重んじる校風。

若き乙女たちが青春時代を駆け抜けた、伝統の八代高女ここにあり。

**出席者** (敬称略)  
司会:澤井敏子 (高女42回)

佐渡ノブ子 (高女33回)  
原田玲子 (高女36回)

木下信子 (高女37回)  
山本佑子 (高女41回)

松本照子 (高女42回)  
野藤美代子 (高女43回)

佐野利江 (高女44回)  
高木澄子 (高女44回)

高木澄子 (高女44回)  
野藤美代子 (高女43回)

佐野利江 (高女44回)  
高木澄子 (高女44回)

高木澄子 (高女44回)  
野藤美代子 (高女43回)

## 憧れの八代高女への入学

(澤井) 早速ですが、八代高女にはどんな憧れを抱いて入学されましたか。

(佐渡) きちんと折り畳みのついたロングスカートのセーラー服と校章、革靴を身につけて、八代高女の正門をくぐるのが憧れでした。

(松本) 八代高女の制服を着るのが憧れでしたが、二年生からは、作業服のもんべを着なければなりませんでしたね。(笑)

(木下) 掃除が行き届き、校舎が大変きれいでした。コンクリートの廊下は、まるで鏡のように、光り輝いていましたね。きれいな女学校が憧れでした。

が、当時関西でも八代高女は、学力のレベルが高く、生徒のマナーも良いとのことで有名でしたよ。

## 高女時代の勉強風景

(澤井) ところで、高女の授業の状況はどうでしたか。

(佐渡) 私たちのころは、よく勉強させられました。英語の授業もあり、勉強、テスト、部活、試合と大変鍛えられました。

(野藤) 勉強したのは一・二年生の時だけで、三年からは分散教育で、毎日、農作業などに駆り出され、勉強はありませんでしたね。教科書もなかつたです。

(高木) 終戦後、授業が再開されましたが、英語が全然わかりませんでした。それでも皆通知表は秀をもらいました。(笑)

(木下) 当時は、プールがなかなかつたので、新開井出で、水泳をしました。水はきれいでしたが、藻ががりがたいへんでしたね。

(澤井) 高女時代の学校生活はどうでしたか。私のころは、八代宮の掃除の折、八代中学校の前を通る時は、「頭右(かしら右)」で、誰も中学生を見ることができませんでした。



佐渡ノブ子さん



原田玲子さん

(野藤) 服装検査が厳しくて、

いつも(じゆうじ)泳いでいましたよ。(笑)



佐野 利江さん

旅でした。

食糧難の時代で、米は持参しました。悪い米と混ぜられると困るので、予め米を送った記憶があります。

### 盛んだつた部活動

(澤井) 高女でのクラブ活動はどうでしたか。

(佐渡) テニスやバスケットなど部活動は活発でした。城南大会は、人吉、松橋、甲佐、八代の各高女で行つていましたが、八代高女は常に優勝していました。

（松本）私はバスケット部に入つていましたが、ほとんどのクラブは、一年生で廻部となりました。戦後は再開し、テニスなどは、県大会でも常勝校で有名でした。

(野藤) 四年生の一学期に、体育の池田先生に呼ばれ、ソフトボールの大会があるので、人を集めると語されました。「ソフトボール」とは、初めて聞く言

葉でびっくりしたが、仕方なく、クラブに入つていない友達を集めチームつくりました。父に相談すると「やきやんた女のするものではない」と怒られました。

成美高女（現日田合高）と試合し、十二対二で勝ちました。しかし、面白かったのに、そのこと

は、試合に出た人でやえ、みんな忘れていました。（笑）

### 八代高女とは

(澤井) 八代高女を出てよかつたと思われていることはどんなことですか。

(山本) 高女卒はみんなから尊敬されていました。学問ができただけではなく、裁縫も良くできていたいの着物は縫えるし、しつけが厳しかったですが、礼儀・作法が身に付き、いろんな事が出来たことからそう言われたのでしょうか。

(原田) 京都女專出身の土生先生は、旧来の恩師です。しつけが厳しかったですが、歩いて

いる時、ちりが落ちていると自然に拾つてしまふなど、教えは今でも役立っています。



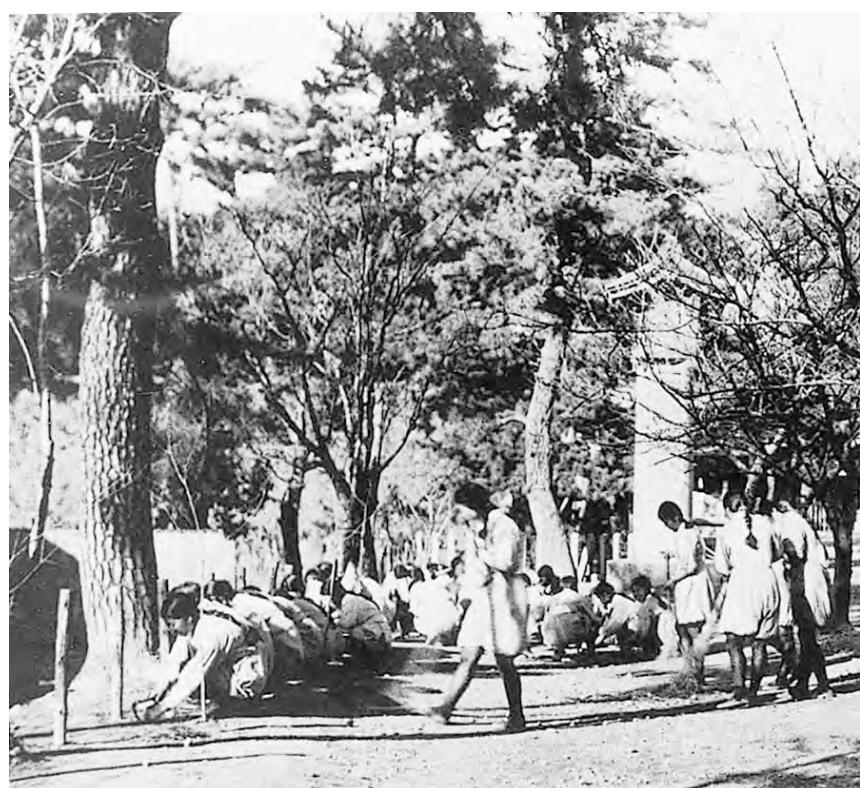
高木 澄子さん



司会：澤井 敏子さん

たち八代高女生の気持ちを綴つてくれていると思います。本日は、ありがとうございました。  
さしく、あの時代を過ごした私たちが、一度と戦争をしてはいけないという決意がよみがえる。まさに生きてきた時代が大変いとおしゃれていました。

（澤井）今田（じ）出席の山本佑子さんが同窓会の記念誌に投稿された文章を紹介し、今日の座談会の結びにかえさせていただきます。「戦争の時代、八代高女に通い、ペンを鍔に変えた私たちの青春時代は一体何だったのかと振り返つて見る時、級友が答えてくれた。『八代高女で学んだことは、耐乏生活のおかげで、どんな環境にも対応できる自信を得た。物事に一途に取り組む姿勢を教えられた。実生活に役立つ基礎を身につけることができた。』そう考えると、灰色の女学校時代ではあったが、苦しい時代とともに生きてきた連帯感が、級友たちとの深い結び



昭和十年・八代宮清掃奉仕活動

高女 修練農場



# 母校だより

## 祝 熊本県立八代中学校開校

八代中学校 教頭 里永 典隆

### 開校式・入学式



熊本県立八代中学校開校式 (H21.4.8)  
瀬口校長による開校宣言

「(こ)に熊本県立八代中学校の開校を宣言いたします」瀬口春一校長の開校宣言とともに、平成二十一年四月八日、熊本県初の併設型中高一貫教育校となる熊本県立八代中学校が開校いたしました。

開校式の後、引き続き中高合同による入学式が行われ、高校一年生一百八十四名とともに中学生八十名が入学しました。入学者では中高それぞれの代表が新入生宣誓を行い、中学生も高校生もすばらしい宣誓を行いました。



八代中学校開校記念式典 (H21.11.5)

開校までの道のり  
平成十年、文部科学省は中等教育（中学・高校）の一層の多様化をねらいとして中高一貫教育校の導入を発表し、平成十一年から制度化されました。これを受け、本県においても、平成十四年、小国高校、天草西校に連携型の中高一貫教育を導入しました。しかし、併設型の中高一貫教育校の導入は九州でも一番最後となりました。平成十九年、熊本県教育委員会は熊本県立高等学校再編整備等基本計画を発表し、その中で地域拠点校の充実と特色ある高校づくりを目指に併設型中高一貫教育校の生活を通して、八高ジュニア

導入が決定しました。そして、平成十九年十一月一日、八代高校内に熊本県県南地域併設型中高一貫教育校設立準備室を設置。平成二十年八月一日、熊本県立八代中学校設置。その後、開校準備、学校説明会、入学者選抜を行い、本年四月の開校を迎えた。

### 中学校の生活

新学期が始まり、校内には中学生の明るい声が響き渡るようになりました。基本的には日課や行事も中高同じ。二泊三日の

国立阿蘇青少年交流の家の宿泊研修、八高祭から名称変更した鳳雛（ほうすつ）祭（体育の部、文化の部）なども中高合同で実施しました。また、大学の先生による出前講義なども高校生と一緒に参加し、他の中学校では経験しがたい行事にも参加しています。部活動も中高の交流をできるだけ図り、高校生が中学生に指導する場面なども見られ、ほほえましく感じられます。高校生の先輩の活躍を見て、中学生からは「早く自分たちも先輩のようになりたい」などの声が聞かれ、他の中学校では経験することのできない高校生と

として中学生は少しずつ、着実に成長しています。

### 今後に向けて

今年度、創立百十四年目を迎える八代高等学校に誕生した八代中学校。旧制八代中学校から最後の卒業生を送り出し、六十年ぶりに名称が復活した八代中学校は、先輩方が築いてきた伝統を受け継ぎ、八高ジュニアとして今まで引き継がれてきました。

八中、八高スピリッツを少しすつ吸収しながらこれからの大未来に大きく羽ばたいていくでしょう。私たち職員一同、このよくな大きな歴史的な節目に勤務できることを光栄に思うと同時に、これから八代中学校を創つていくという大きな職責を感じながら日々の教育に携わっております。同窓生の方々には、今後ともますますの応援をいただき、ますようにお願い申し上げます。



熊本県立八代中学校開校記念植樹式 (H21.6.9)  
同窓会より開校記念として後方の「関山桜」と緑色のテント2張りをいただきました。

# 鳳雛祭

## (体育の部) (文化の部) 等について

文責

生徒自治会顧問 小田原 晃

一、鳳雛祭(体育の部文化の部)  
の歴史について

平成二十一年度から八代中学  
校が併設され、これまで『八高  
祭』として親しまれてきた行事  
が『鳳雛祭』として生まれ変わ  
りました。以前は八高祭一部が  
祭りの部、八高祭一部が体育の  
部、八高祭二部が文化の部とし  
て行われてきました。それが平  
成十四年に八高祭一部(体育の  
部)と八高祭二部(文化の部)  
の一部制に変わりました。この  
年から祭りの部で行われていた  
フリーダンスが体育の部で導入  
され、名物の一つとなりました。  
また、文化の部の楽しみの一つ  
である『フリーステージ』も祭  
りの部の名残を今に受け継いで  
いるところです。

### 二、【鳳雛祭(体育の部) について】



### 三、【鳳雛祭(文化の部) について】

平成二十一年度の鳳雛祭(文  
化の部)はテーマが『魁』、サブ  
テーマが『The New  
Legend of the  
Phoenix (鳳雛の新たな  
伝説)』として取り組みました。

二つ目は中学校の生徒自治会  
の活躍です。成松中学校生徒自  
治会長が合澤高校生徒自治会長  
と並んで挨拶をする姿はまさに  
新たなる歴史の瞬間を感じました。  
また、陣内中学校生徒自治会副  
会長の閉式通告も中学生らしい  
新鮮な印象を与えてくれました。  
その他にも全員観覧のステージ  
裏では、音響・照明・誘導・舞  
台準備などにも高校生に混じっ  
て中学校の生徒自治会も活躍し  
てくれました。

平成二十一年度の鳳雛祭(体  
育の部)ではテーマを『魁』と  
し、これまでの『八高祭』とは  
一味違う試みをいくつか行いま  
した。

まず一つ目は体育科主体によ  
るマスゲームです。体育科の先  
生方、特に体育科主任の鹿本大  
輔先生には企画から練習、本番  
に至るまでかなりご苦労いただ  
いて実現することができました。  
前年度の三月からかなりの練習  
時間をかけて、二・三年生男女  
合同のマスゲームが仕上がりま  
した。八高生の逞しさや力強さ  
以上の完成度の高さを見せてく  
れました。限られた練習・準備  
期間の中で非常に高いレベルま  
で完成させることができる八高  
生の素晴らしい姿には毎年感心さ  
せられてきました。そして八中  
生もその伝統を引き継いでいま  
す。

ポールコートでの練習をしたた  
けですが、中学生たちは素晴らしい  
進歩を遂げ、本番では素晴らしい  
スピードでリレーを行う  
ことができました。この競技も  
鳳雛祭の新たな名物になりそう  
です。

その他にもこれまで体育の部  
で名物となっていた応援団演舞、  
フリーダンス、シンボルと例年  
以上の完成度の高さを見せてく  
れました。限られた練習・準備  
期間の中で非常に高いレベルま  
で完成させることができる八高  
生の素晴らしい姿には毎年感心さ  
せられてきました。そして八中  
生もその伝統を引き継いでいま  
す。



### 四、その他の学校行事について

クラスマッチは三年生が十月  
初旬、一・二年生が三月に丸一日  
かけて行います。クラスの親  
睦を深め、日頃のエネルギー発  
散の場としても大変有意義な行  
事の一つです。

また昨年は谷口三郎氏(八  
代中学四十一年卒)のご講演を  
きっかけとして、支援募金を実  
施しました。文化祭食品バザー  
の売上金と合わせてタイの谷口  
農場に送り、そのお金で植林活  
動に生かして頂きました。この  
ことでタイ奥地に『八代高校・  
八代中学校記念の森』と名前の  
付いた森が作られました。

今後も八代高校・八代中学校  
の生徒たちがこのような行事を  
通して成長していくことを期待  
しています。

道部がその漢詩を書き上げると  
いうステージ発表です。日本の  
伝統文化のすばらしさを感じる  
発表に鳥肌が立つほどの感動を  
覚えました。

一つ目は書吟です。書吟は全  
国総合文化祭に熊本県代表とし  
て出場する生徒三名に詩吟を吟  
じてもらいました。それに合わせて書  
画から練習計画に至るまで、松  
田直子先生をはじめ、中学校部の  
全ての先生方が協力をいただ  
きました。約十日間ほどハンド  
ドリーニングの最初を飾るピアノ  
演奏も例年にひけをとらない素

晴らしい演奏でしたし、フリー  
ステージもレベルの高いダンス  
パフォーマンスやコント・歌な  
ど、見る人を楽しませてくれま  
した。そして展示部門では『環  
境』をテーマに様々な作品展示  
をしてくれましたが、その中で  
もプラネタリウムやモザイクア  
ートなど手の込んだものが多く、  
展示の質もかなり高い印象を受  
けました。

# 八代高校部活動

## 運動部活動について

### ○現状

学年	在籍数	加入数	加入率
3年男子	140名	113名	80.7%
3年女子	144名	81名	56.3%
2年男子	135名	113名	83.7%
2年女子	149名	72名	48.3%
1年男子	161名	146名	90.7%
1年女子	123名	67名	54.5%

現在、八代高校運動部活動は、男子十七クラブ・女子十四クラブの計三十一クラブが毎日活動している。部員数は以前の三十三学級と比べると現在二十一学級のため、かなり少なくなっているが、加入率としては、表のとおりで、他の高校に比べるとかなり高い加入率である。



### ○最近の活動状況

平成十四年にソフトテニス男子が全国大会に出場し、その後5年間各種目（陸上競技、水泳男子、ソフトテニス女子、弓道男子、空手女子、剣道男子など）ずれも個人・九州大会出場をしたが、昨年平成二十年に陸上競技、弓道の男子個人で久々の全国大会出場を果たした。本年度も陸上競技（走り幅跳び）が全国大会に出場した。また、本年度、県高校総体前の八代・益城・城南地区高校体育大会においては、団体優勝（男子二・女子一）準優勝（男子四・女子四）三位（男子三・女子三）、個人においては、個人優勝（男子九・女子三）準優勝（男子三・女子三）

三位（男子三・女子三）といつ成績であった。また夏の全国高校野球選手権大会県予選においては、野球部が一十九年ぶりに、ベスト8に進出した。敗れただれどもベスト4をかけた戦いに全校応援を行い大いに盛りあがった。

## 文化部・同好会活動について

### ○現状

現在、十七の部活動と二つの同好会がある。全体の約三割の生徒が文化部に加入している。また、他の部と掛け持ちし、幅広く活動を行っている生徒も多い。

### ○最近の活動状況

生物研究部は、「スナメリに関する研究」が今年の「Newton 六月号」に掲載され話題を呼んだ。文芸部は、「県高校文芸誌」ノンクール優秀賞、昨年は全国高等学校文芸コンクール韻文部門で文部科学大臣賞受賞、第十一回高校生文芸道場九州ブロック大会出場、平成十八年度全国総文祭出場、平成二十年青少年読書感想文県予選最優秀賞受賞、来年度全国総文祭出場決定、美術部

は、高校美術展で優秀賞受賞（来年度九州大会出品）、八代市紀絵画コンクールにてグランプリ受賞、放送部は、平成二十年度NHK全国放送コンテスト熊本県生代表派遣団員に選出、平成二十年にはカンボジアへの派遣団員に選出された。物理研究部及び天文部は両部とも平成二十年

県生徒理科研究発表会にて優秀賞受賞、書道部は、平成二十年県高校書道展奨励賞受賞、県高校揮毫大会創作秀作受賞、吹奏楽部・合唱部は、様々な式典にて会場を盛り上げてくれており、各高校生コンクール・県総文祭では共に銀賞受賞、囲碁・将棋同好会は、平成十九年県総文祭将棋部門で団体準優勝などがあった。文芸部は、「県高校文芸誌」ノンクール優秀賞、昨年は全国高等学校文芸コンクール韻文部門で文部科学大臣賞受賞、第十一回高校生文芸道場九州ブロック大会出場、平成十八年度全国総文祭出場、平成二十年青少年読書感想文県予選最優秀賞受賞、来年度全国総文祭出場決定、美術部



## 今後に向けて

本校は現在、各学年七クラス生徒在籍数（男子四百三十四名、女子四百十六名）の計八百五十名である。少子の時代を迎える前に比べると、約六割の生徒数である。クラブの中には人数不足の部活もあり、部活の数も今後精選していく必要がある。また、今年度より県下初の県立八代中学校が開校し、八十名の中学生が入学した。八代中には、バスケット・バドミントン・バレーボール・ソフトテニス・サッカー・野球・剣道・音楽・科学の九つのクラブも誕生し中高一貫の連携を図り、六年間を見据えた文武両道の気風を尊重した指導を目指してこきたい。

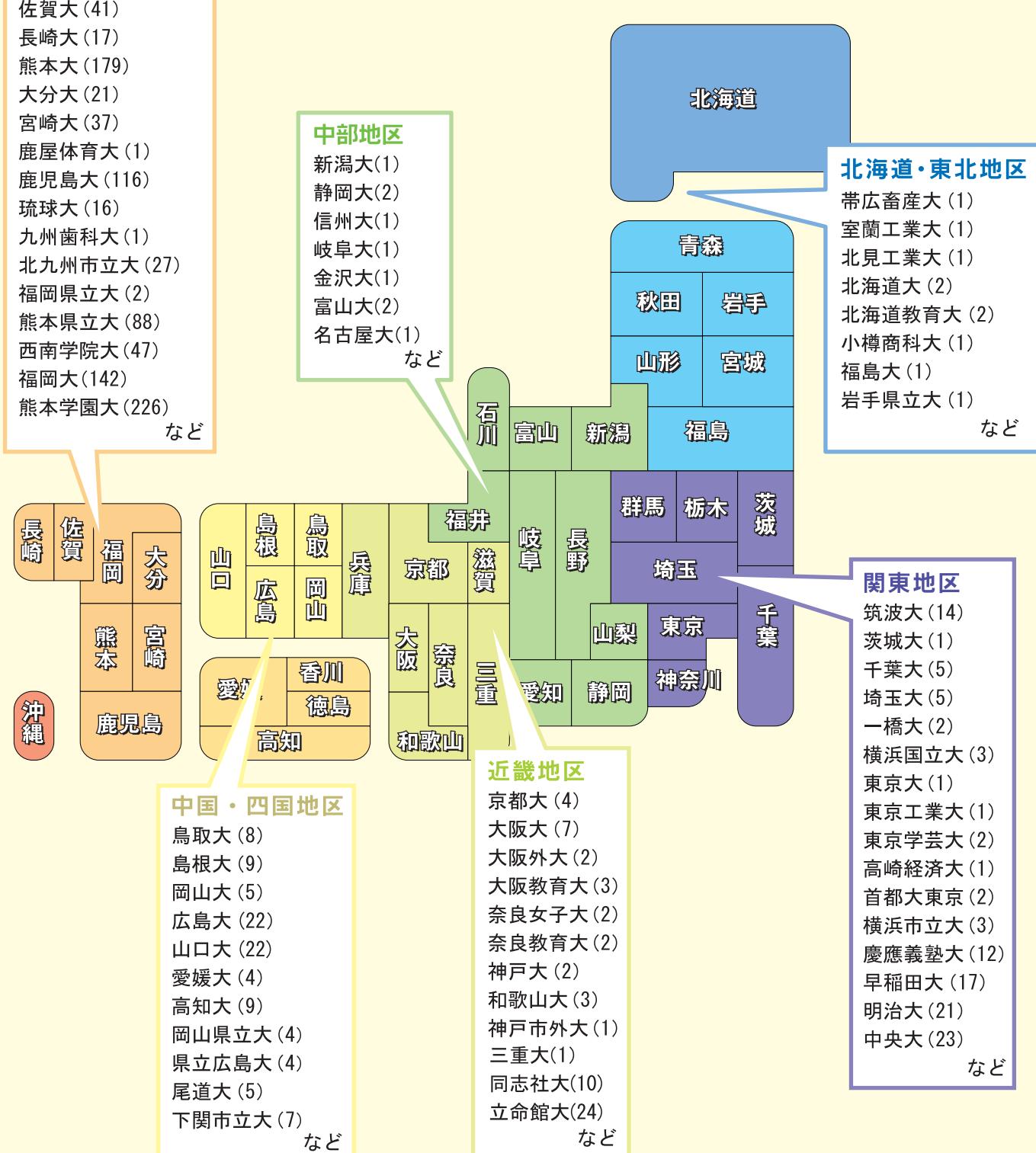
# 進路状況

熊本県立八代高等学校 進路指導部

毎年高い志を掲げて努力していく生徒達。先輩達の頑張る姿を見る後輩達、脈々と続く八高の伝統。下の図は、過去5年間で先輩達が合格した足跡をマップにしたものである。全国の様々な大学に進み活躍している。後輩達も是非この後に続いて欲しい。

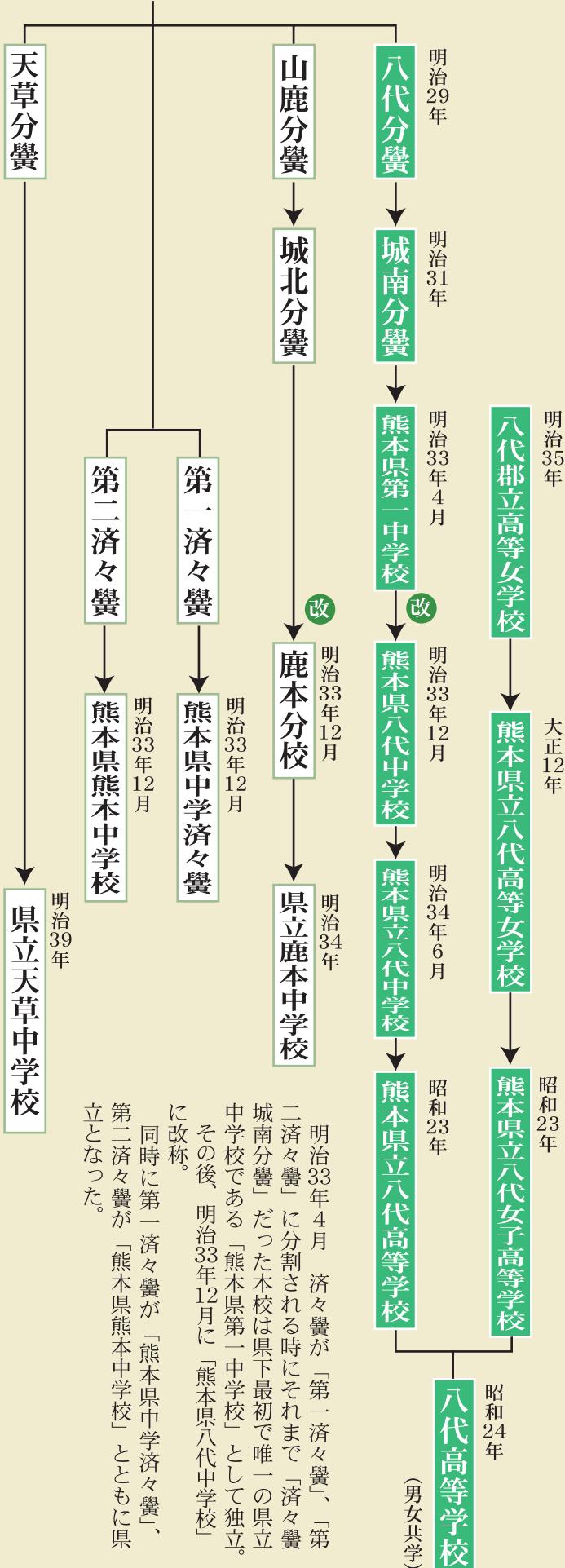
九州地区
九州大(43)
九州工大(7)
福岡教育大(19)
佐賀大(41)
長崎大(17)
熊本大(179)
大分大(21)
宮崎大(37)
鹿屋体育大(1)
鹿児島大(116)
琉球大(16)
九州歯科大(1)
北九州市立大(27)
福岡県立大(2)
熊本県立大(88)
西南学院大(47)
福岡大(142)
熊本学園大(226)
など

本校生の進路希望の約98%が進学を希望し、そのうちの80%が国公立大学を希望する。そして、50%前後が国公立大学の現役合格を達成している。さらなる飛躍を目指して、日々の授業・課外に真剣に取り組み、様々な行事を通して進路意識の向上を図っている。





## 済々黌本黌



明治38年 第一回卒業生（34名）

学校（のちの第一高女）が誕生している。

八代中学の生徒心得規定が八代中学校細則の第14章に掲げられている。『第16条 猥（ミダ）りに楽器を弄し又は詩歌を朗吟すべからず』『第22条、途中師長に対しては歩を止め敬礼すべし、但同輩には歩を止めるを要せず』『第23条、本校生徒相逢は其面識に拘わらず互いに敬礼すべし、但先ず下級者より始むべし』と

可された。こうして、済々黌城南分黌が廃止され、熊本県第一中学校は、県下最初で唯一の県立中学校としてスタート。明治33年4月3日付九州日日新聞に生徒募集の広告を熊本県名で掲載している。一方で、女子教育も発展し、公立女学校が創立、続いて翌年に熊本県立高等女

ラブや部活動にあたる組織も33年には組織されている。明治45年には剣道部、柔道部、遊泳部、端艇部、野球部、庭球部、蹴鞠部、弓術部、雑誌部、技術部、演説部、朗吟部、英語部、図書部などが存在している。

卒業生の進路に注目すると、35年3月卒業の第一回生と翌年卒業の第二回生は計72名で、進学先は五高が12名と多いが、米国渡航も3名で、当時の世相と進取の気象に富む本校生の一面が窺われる。

明治30年代の県内の中学校

明治33年、熊本県第一中学設置の件と第一済々黌（後に熊本県中学済々黌と改称し、従来通り天草分黌を付属）、第二済々黌（熊本県熊本中学校と改称し、従来通り城北分黌を鹿本分校と改称して付属）の分立の件が文部省により認可された。こうして、済々黌城南分黌が廃止され、熊本県第一中学校は、県下最初で唯一の県立中学校として独立している。この時点では県立中学校は六校存在している。一方で、女子教育も発展し、公立女学校が創立、続いて翌年に熊本県立高等女

の状況を大まかに見てみると、33年4月に県下最初の県立中学校である熊本県立第一中学校が八代の地に誕生し、同年12月に済々黌、熊本中学が県立に、翌34年に鹿本中学が県立に、さらに36年玉名地方に熊本中学玉名分校を創立、39年には済々黌天草分黌が天草中学として独立している。この時点で県立中学校は六校存在している。一方で、女子教育も発展し、公立女学校が出現することになる。35年に八代郡立八代高等女学校が創立、

明治38年 第一回卒業生（34名）

明治39年：県立天草中学校

明治33年4月：済々黌が「第一済々黌」、「第二済々黌」に分割される時にそれまで「済々黌」だった本校は県下最初で唯一の県立中学校である「熊本県第一中学校」として独立。その後、明治33年12月に「熊本県八代中学校」に改称。

同時に第一済々黌が「熊本県中学済々黌」、第二済々黌が「熊本県熊本中学校」とともに県立となつた。

「学友会」という現在のク

八代中学校では「学友区制度」

というものがあり、全校生徒を地方別に5つの学友区に分けて、学友区は準自治団体として扱われました。各学友区には5年生から部長1名、副部長数名を任命して、上級生一同がそれらを補佐しながら、勉強から運動まで下級生の指導をするというものだったよう

です。通学途中でも上級生が勉強のアドバイスをしたり、時事問題について談笑しつつ往復するといった具合で、下級生も学友区間の成績について責任を負つており、学友区間の競争により生徒の成長があつたと第10回卒業の先輩が回顧されています。昭和10年

勤労奉仕



昭和10年 運動会での軍事演習



には、「生徒の志氣を旺盛にし、校風の発揚と精神修養とを図り、教練振作に資せんとする目的」で喇叭（ラッパ）部が創部。部員31名。野外教練や団体訓練等の学校行事で必須の役割を果たすという、他の部とは異なる存在意義を持つていた。

また、昭和6年の教育課程の改訂で「作業科」が設けられ、その年の入学生から基本教科として実施された。昭和13年には「国家総動法」が公布され、それに伴い、県が「集団勤労作業実施要綱」を通牒。八代中学では昭和13年7月25日より8月7日まで郡築堤防の補強工事を3つの班（①測量班 第5学年1組より25名 ②補

班 上級生より10名）に分かれ、3～5年生は4日間、1、2年生は3日間の日程で行つた。この後も何度も勤労奉仕作業が学校を挙げて行われている。

強工事班 830名 ③機械

班 上級生より10名）に分か

れて、3～5年生は4日間、1、2年生は3日間の日程で行つた。この後も何度も勤労

奉仕作業が学校を挙げて行われている。

### ●八代高等女学校（明治35年 創立）



明治44年 運動会（フォークダンス）

翌、昭和24（1949）年4月1日、八代高等学校と八代女子高等学校は統合し、新たに八代高等学校と名乗ることとなつた。26年3月までの3年間は、本校全日制普通科の他に工業課程、定時制高校、通信教育部が設けられており、さるに23年には前年から付設されていた併設中学校も3年生が在籍しているなど複雑な構成で、生徒数も2,000名を越すマンモス校だつた。



昭和11年 授業風景

●八代高等学校（昭和23年）

昭和23（1948）年4月1日、県下33の県立高校の一つとして八代高等学校は発足した。八代地区には、他に県立高校として旧制八代高等学校を母体とした八代女子高等学校もあつた。

明治19年の小学校令で小学校を尋常小学校（6歳から修業年限4カ年）と高等小学校（10歳から修業年限4カ年）とに分け、尋常小学校を義務制とした。小学校の卒業後に進学する高等小学校は八代郡には4校で、八代地方の小学校を卒業した女子は高等小学校に進学するか、熊本市内の師範学校や私立学校に学ぶし

かなかつた。

郡制の廃止に伴つて大正12年4月に熊本県立八代高等女学校と組織変更され、改称された。修業年限4年、生徒定員400名であつた。

昭和16年に戦時色が濃厚にな

ると、食糧や物資の欠乏が目立つようになり、熊本県では「青少年学徒食糧飼料等増産運動実施二関スル件」を発し、食糧増産のため中等学校の生徒に勤労作業を年間30日以内従事させ、その日数は授業扱いとすることになった。

昭和23年3月31日に終焉し、4月1日八代女子高等学校が開校。



昭和31年 運動会

# 飛躍人紹介

「八代の“ラスト・サムライ”」

## 谷口巳三郎

(中四十一回)



大正十二年生まれの谷口巳三郎先輩（以下谷口）は昭和五十年に熊本県立農業大学校教官を退職後、単身渡タイ。以来北タイの貧しい農村地区に自力で「谷口」十一世紀農場を開設し、「」を拠点にアジアの青少年教育と地域開発のアドバイザーとして、八十六歳の今も不死身の活動を続けています。

「谷口の志は何か」と問われたり、「サムライ・マインド」

ばかり

（2）『』に困っている人がいれば、『』に助正在している人がいるが、『』に助けを求めている人がいれば一我々は助けなければならぬ」

谷口の旧八代中学時代の運名は、八代中のガンジーでした。禁欲的で意志が強く、深い慈悲心を秘めた谷口の人柄は級友達にも認められていました。

山岳少数民族への支援から始まった人道支援活動は、タイに住むアフロス、カンボジア、ミャンマーへと広がり、エイズ患者たちへの支援も、地道だが現在も続いている。



「3つの誓い」を唱和する農場の朝会には日本の学校にはない格調高いムードがある。

前線②『麿帝に生れる』（八代高図書室にもあります）  
※谷口巳三郎著 ①『Hイズ最前線』②『麿帝に生れる』（八代高図書室にもあります）  
北部タイ農村振興支援会会長 沖村 好運

と答えるしかありません。以下、谷口の言葉から彼のボランティア哲学を洞察してください。

（1）「谷口」十一世紀農場」の研修生が朝会の時に大きな声で唱和する誓いは『一、私は家族の希望の星二、私は國の宝三、私は人類の食糧を生產する戰士』。

谷口は、人類は遠かはずして地球の温暖化と砂漠化、加えて人口増加によって食糧と水不足に見舞われることを予見しています。彼は「もう遅い！」しかし、『』を拠点にアジアの青少年教育と地域開発のアドバイザーとして、八十六歳の今も不死身の活動を続けています。

（2）『』に困っている人がいれば、『』に助正在している人がいるが、『』に助けを求めている人がいれば一我々は助けなければならぬ」

谷口の旧八代中学時代の運名は、八代中のガンジーでした。禁欲的で意志が強く、深い慈悲心を秘めた谷口の人柄は級友達にも認められていました。

山岳少数民族への支援から始

八十六歳の谷口は、「臨終の時には、もうこれ以上ひとために尽くす」とが出来ない」と言つて死にたい」と言つています。

皆さん、八代高校の先輩谷口巳三郎氏の、もうしばしの健勝を共に祈りましょうよ。

※谷口巳三郎著 ①『Hイズ最

## 「秋山監督がんばれ！」

「秋山福岡ソフトバンクホー

クス監督」この言葉を誰が予測

したであろう。東大に合格する

よう、いや、閻僚に選出される

は、野球以外のスポーツも頂点

より難しい難関であり、それも

極め、日の丸を胸に付けてい

王監督の後任である。

八高を一十九年前（昭和五十六年）に卒業後、西武ライオンズに入団し今日に至るまでの道のりは皆様もご承知の思ひで、王監督の後任である。

監督就任一年目の今年は三位

に終わつた。今後もファンを魅

了する試合で常勝を続け、西武

ライオンズ時代の同僚でありよ

うに、

高校時代の「幸」に触れるこ

とにしよう。

教室内での思い出は全くと言つていいくほど残っていない。反面、体育の授業や部活中の場面はいつも記憶に残つている。

体育館での一m八五cmの身長から繰り広げられるマット運動や鉄棒はダイナミックな演技で工木先生も絶賛するほどであつた。大きさかもしれないが、鉄

棒は「」の字に曲がり崩壊寸前であった。

また、サッカーの授業で幸二はキーパーを努め、投げたボールはセ

ンターライン近くまで達し

野球のフリーバッティングではレフト後方で練習中のラグビーハーフを越す一四〇cm級の当たりを飛ばすことも幾度もあった。

このように、器用さとすれば抜けた身体能力を兼ね備える幸二は、野球以外のスポーツも頂点

を極め、日の丸を胸に付けていたに違ひない。

監督就任一年目の今年は三位に終わつた。今後もファンを魅了する試合で常勝を続け、西武ライオンズ時代の同僚でありよきライバルの伊藤監督との日本シリーズを、天井の開いたドームで是非とも観戦したいものだ。（高二十三回元チームメイト）

長町 優



昭和五十五年春 県大会優勝  
先頭は秋山選手  
朝日新聞社提供

野球のフリーバッティングではレフト後方で練習中のラグビーハーフを越す一四〇cm級の当たりを飛ばすことも幾度もあった。

このように、器用さとすれば抜けた身体能力を兼ね備える幸二は、野球以外のスポーツも頂点

を極め、日の丸を胸に付けていたに違ひない。

# 八代だより

5月  
風薫る  
五月の八代を歩く



600年目の  
新たな出発!!  
新温泉センター  
完成!!

日奈久温泉に温泉センター「ばんpei湯」が完成し、七月十八日、テープカットやくす玉割りなどで、日奈久温泉の新しいシンボルの落成を祝しました。

この日は、開湯600年の記念の「ひなぐ丑の湯八郎祭」も開幕し、地元の園児たちによる太鼓演奏や詩吟、フラダンス、六郎太鼓などが次々と披露されたほか、日奈久住民が演じる温泉発見物語「いで湯湧く」が初上演されました。

今年は国際大会加盟の審査大會として、式典に国際連盟の会長をはじめ蒲島熊本県知事も参加されたほか、「八代よかどい大使」の八代重紀さんや陣内貴美子さんも応援に駆け付けられました。

三日間で一八、九〇〇名が参加し、ウォーカーたちは途中で設けられた接待所でボランティアの皆さんから冷たいお茶や手作りの漬物などの温かい接待を受けました。



練り歩き、浴衣と下駄で散策する「路地裏ウォーク」や県内外の十七チームによる「日奈久ひき」など、湯の街は祭りムード一色に包まれました。

また、七月十一日には「日奈久温泉いこいの広場」に、新名所となる足湯もオープンしており、日奈久温泉は新しい魅力がいっぱい。

日奈久温泉に温泉センター「ばんpei湯」が完成し、七月十八日、テープカットやくす玉割りなどで、日奈久温泉の新しいシンボルの落成を祝しました。

この日は、開湯600年の記念の「ひなぐ丑の湯八郎祭」も開幕し、地元の園児たちによる太鼓演奏や詩吟、フラダンス、六郎太鼓などが次々と披露されたほか、日奈久住民が演じる温泉発見物語「いで湯湧く」が初上演されました。

8月  
真夏の祭典  
八代くま川祭り

八月八日、第四十一回「八代くま川祭り」が開催されました。メイン行事の総踊りでは六十四団体、約五、四〇〇人があいにぐの雨を吹き飛ばすような元気な踊りを繰り広げました。

踊りに先立ち、会場ステージ前では、かわいさいっぱいの予



どもみこしや、音楽パレード、勇壮な大人みこしなどが次々と披露され、総踊りには、今年のゲスト「やつしろよかどい大使」の陣内貴美子さんも参加し祭りを盛り上げて頂きました。

十月十七日、今年で第二十回となる「やつしろ全国花火競技大会」が球磨川河川敷緑地で開催されました。



この花火大会は大曲、土浦に続く競技花火大会で、全国から三十業者が参加し花火の技を競いました。

一七七万人の観客は音楽に合わせて打ち上げられるミュージック花火や直径九〇cmの花火など、秋の夜空に咲く二三、〇〇〇発の花火に歓声を上げていました。

眞理 正博（高）（十七回）

10月  
秋の夜空に  
大輪の花浮かぶ

# 八代高校花馬奉納会

八高同窓会花馬奉納会は、創立九十周年記念事業として結成され、今年で二十四回目を迎えます。

毎年同窓会・八高・PTAが一丸となり同窓会長以下約百名で十一月二十三日に行われる、九州三大祭り八代妙見祭に飾り馬を奉納しています。

又、百周年と百十周年には神馬を奉納し、記念樹の神馬の桜は春には満開の花を咲かせ新入生を暖かく迎えています。

私達の活動は飾り馬を奉納する事によって、八代市民の財産である妙見祭を盛り上げ後世に伝える事ですが、現役の八高生を参加させ祭を体験する事で思い出を作り、後々郷土八代を大好きな大人になる事を願っています。

又、市内回りの時は施設や老人ホーム等を訪問し、祭りに行けない人に飾り馬に触れたり、馬の走る姿を見る事で祭りの雰囲気を楽しんで頂く活動もやっています。

今年で三年目を迎える予供達による

二十一の奉納も地域の方々や保護者の方に大変喜ばれ定着してきました。

私達八高花馬奉納

会は夢、挑戦、感動を合言葉に大先輩からの若いメンバーと共にとても楽しい集いでです。皆様の参加を心から歓迎します。

八高同窓会花馬奉納会  
会長 渡田 義昭



## 11月 絢爛豪華な時代絵巻 く九州三大祭 八代妙見祭く

八代の秋を飾る「八代妙見祭」が、十一月一十三日に開催され、八代の街は祭りムード一色に染まりました。

二十一日の御夜では、アトラクションに「友好都市の中国北斎市の獅子舞」や「沖縄浦添市の獅子舞」が特別出演し、「獅子舞」や「亀蛇」と熱演を繰り広げ、見物客は一味違った祭りの雰囲気を楽しんでいました。

二十三日の神幸行列は、塩屋八幡宮から八代

神社までの約六kmを練り歩き、八代駅前や砥崎河原では、獅子舞や祭りの人気者「亀蛇」による演舞、神馬や飾馬による馬追いが披露され、観客から大きな歓声と拍手が沸き起りました。



## 平成20年度八代高校同窓会会計決算書

(1) 収入の部 (単位:円)

費目	本年度予算額	決算額	差異	摘要
繰越金	21,403,615	21,403,615	0	平成19年度より繰越し
会費	1,435,000	1,435,000	0	5,000×287名分
雑収入	61,385	320,734	△259,349	預金利息・名簿代・寄付(高26回、高47回)
合計	22,900,000	23,159,349	△259,349	

(2) 支出の部

費目	本年度予算額	決算額	差異	摘要
会議費	400,000	179,025	220,975	代表者会・臨時理事・幹事合同会経費
印刷費	200,000	33,600	166,400	総会等案内状
役務費	800,000	352,634	447,366	郵便・電話・広告・ホームページ
消耗品費	80,000	56,249	23,751	用紙代
慶弔費	250,000	103,050	146,950	香典・電報代・記念品代
人件費	800,000	700,000	100,000	事務局手当
新入会員歓迎費	100,000	49,980	50,020	卒業証書入れ丸筒代
旅費	700,000	481,931	218,069	支部同窓会出席旅費
雑費	800,000	214,030	585,970	花馬補助・会報見本製作費
予備費	18,770,000	0	18,770,000	
合計	22,900,000	2,170,499	20,729,501	

(3) 収支決算の部

収入決算額	支出決算額	残高	摘要
23,159,349	2,170,499	20,988,850	平成21年度へ繰り越し

## 平成21年度八代高校同窓会会計予算書

(1) 収入の部 (単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	増減額	摘要
繰越金	20,988,850	21,403,615	△414,765	平成20年度より繰越し
年会費	5,000,000	0	5,000,000	年2,000×2,500口
入会費	1,820,000	1,435,000	385,000	5,000×364名分
雑収入	291,150	61,385	229,765	緑化事業会計繰入れ・預金利息・名簿代
合計	28,100,000	22,900,000	5,200,000	

(2) 支出の部

費目	本年度予算額	前年度予算額	増減額	摘要
会議費	400,000	400,000	0	会議諸経費
印刷費	200,000	200,000	0	総会等案内状
役務費	800,000	800,000	0	郵便・電話・広告・振込手数料
広報費	4,000,000	0	4,000,000	会報発行費・ホームページ
備品消耗品費	280,000	80,000	200,000	用紙代・パソコン購入費
慶弔費	250,000	250,000	0	香典・電報代・記念品代
人件費	800,000	800,000	0	事務局手当
新入会員歓迎費	300,000	100,000	200,000	卒業証書入れ丸筒代・校歌CD代
旅費	600,000	700,000	△100,000	支部地区同窓会出席旅費
雑費	500,000	800,000	△300,000	花馬補助・電気代・図書等
積立金	1,000,000	0	1,000,000	次回周年事業費(特別会計へ)
記念事業費	1,000,000	0	1,000,000	八代中学校開校記念事業予備費
予備費	17,970,000	18,770,000	△800,000	
合計	28,100,000	22,900,000	5,200,000	

## ◆平成21年度同窓会行事

### 平成21年(2009)

- 4月18日(土) 臨時理事会  
21年度同窓会役員体制について
- 6月13日(土) 会計監査
- 6月27日(土) 八代高校教育振興基金運営委員会・理事会  
総会議案審議(予算案、会則改正案を含む)  
同窓会報、年会費納入制度、新役員体制について
- 7月4日(土) 関西同窓会総会  
ANAクラウンプラザホテル大阪
- 8月22日(土) 同窓会総会  
ホワイトパレス八代 高27回担当
- 9月26日(土) 関東地区同窓会総会  
グランドプリンスホテル赤坂
- 11月5日(土) 県立八代中学校開校記念式典
- 11月23日(月) 妙見宮大祭 花馬奉納

### 平成22年(2010)

- 2月13日(土) 福岡支部総会 於 福岡市 八仙閣
- 2月28日(日) 同窓会入会式 平成21年度卒業生(高62回)

## ◆各支部・地区同窓会連絡先のご案内

### ■八代高校関東地区同窓会

事務局: 中村 静雄(高19回)  
〒103-0004  
東京都中央区東日本橋1丁目6番10号 K・Kビル5階 中村委会事務所  
TEL 03-3864-6951

### ■八代高校関西同窓会

事務局: 濑戸 章子(高15回)  
〒657-0015  
神戸市灘区篠原伯母野山町2-2-1-408  
TEL 078-861-9818

### ■岡山地区同窓会

事務局: 吉田 高範(高18回)  
〒703-8264  
岡山市中区倉富7番地7 TEL 086-276-3979

### ■八代高校同窓会福岡支部

事務局: 伊佐 学(高19回)  
〒811-1353  
福岡市南区柏原5-19-21 TEL 092-565-7908

### ■八代高校同窓会熊本市支部

事務局: 松岡 博之(高17回)  
〒861-8043  
熊本市戸島西1丁目3-15 TEL 096-367-1129

## ◆住所変更時のご連絡のお願い

事務局では会報発行の際、住所不明で事務局へ返送される分を極力減らしたいと考えています。これには、会員の皆様の御協力をいただかねばなりません。

住所変更の際には、事務局までご連絡いただきますようよろしくお願ひいたします。

連絡先 〒866-0885 熊本県八代市永碇町856  
熊本県立八代高等学校同窓会  
TEL 0965-33-4138 FAX 0965-35-8463

幹事さ~ん!

同窓会の呼びかけ、メッセージをラジオから届けます!  
平成9年10月に、八代にコミュニティーFM局エフエム  
やつしろ 76.5MHzが開局しました。  
現在、12周年目を迎える地元の情報中心に発信しています。  
・同窓会をしたいけど、呼びかける方法がわからない  
・○○ちゃん、元気かな?  
などのメッセージに最適です。

例) 八高○回卒の皆さん  
お待たせしました! 同窓会を○月○日○時から  
○○で行います。  
今回、先生方にもお声をかけていますので  
多くの皆さんのご参加待ってます!  
詳しくは、幹事○○まで

### 無料で承ります!

放送時間は当局に一任  
詳しくは、エフエムやつしろ  
TEL 0965-43-7651  
メール 765@kappa-fm.com



平成22・23年度に法令等に基づく車両の全般検査に多額の費用がかかります。そのため、車両のオーナーとなつて肥薩おれんじ鉄道を応援してくださる方を広く募集します。

一口1万円からのご負担で、どなたでも一口オーナーになつていただけます。  
皆様のご支援を心からお願いいたします。

#### オーナーの特典

- ① 対象車両へオーナーのお名前入りプレートの掲示  
(全般検査終了まで)
- ② オーナー限定特製記念品をプレゼント

**金額 一口 10,000円**

問い合わせ先 総務部総務課  
電話 0965-32-5678



肥薩おれんじ鉄道は、元JR鹿児島本線八代駅から鹿児島県川内駅を結んでおります。詳しくは、  
ホームページ <http://www.hs-orange.com>

平成22年8月28日(土)	午後12時半受付開始	会場
( )	八代ロイヤルホテル	八高(八回生)が担当します。講師に女優の岩崎幸代さん(八高二八回卒)を招き、「知的でおしゃれで、ワンドフルな大同窓会」を合言葉に、目下、様々な仕掛けを準備中です。(詳細は同窓会ホームページをご覧下さい。)



私たち八回生は、ご出席の皆さんに満足いただけるようおもてなしの心で、企画運営に努めてまいります。全国の八中・八代高女・八高同窓生の皆さん! 「大同窓会」**1010**でお会いしましょう!!